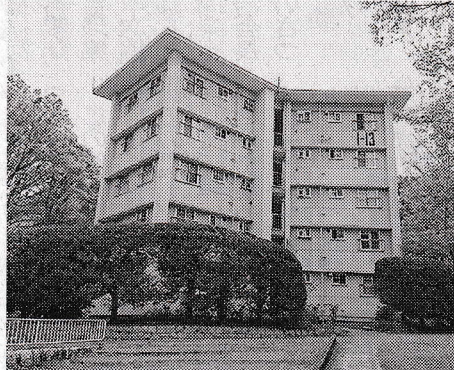


『ときわだいら』常盤平団地のミニコミ紙

筆者は2019年5月から、千光 デザインが素晴らしいと感動 借りました。

筆者は2019年5月から、千光 デザインが素晴らしいと感動 借りました。葉原松戸市のUR常盤平団地の賃貸住宅をセカンドハウスとしていたが、星形住宅の4階住戸を前身)の団地で建設されたが建て替えられたりし、関東では当団地のほか2、3しか残っていない。歴史的にも貴重である。ここにほぼ2年間居住した。その後、新成線UR常盤平駅前住宅に空きがあり移転した。その住宅はマッチ箱の構造ではあるが名前のように駅前であり、1階にはスーパーマーケットがあり、隣のビルにはコンビニ、銀行、西友、電器店、医療機関などがある。



常盤平団地の星型住宅(スターハウス)

星形住宅は土地利用率が低いので、いくつかの住宅公団(UR)の団地で建設されたが建て替えられたりし、関東では当団地のほか2、3しか残っていない。歴史的にも貴重である。ここにほぼ2年間居住した。その後、新成線UR常盤平駅前住宅に空きがあり移転した。その住宅はマッチ箱の構造ではあるが名前のように駅前であり、1階にはスーパーマーケットがあり、隣のビルにはコンビニ、銀行、西友、電器店、医療機関などがある。

Gsキャラバン推進会議開催して、Z世代の若者の力を活用した継続事例を紹介し、ほかに7枚の写真を入れて分かりやすい。4ページ目は、会員などからの投稿記事があり、親しみをこめて出している。このように、団地の現状や将来に向けた情報を掲げて、愛着や共感を意図している。常盤平団地自治会メンバーの工夫や努力を感服したい。

しかし、どの自治体も高齢化&人材不足が恒常化している。その解決に向け「60周年記念誌実現へ」や「孤独死ゼロ作戦」など課題を前面に掲げ、その解決に向かう機運をつくっている。また若者の参加を掘り起こし、明るく元気の常盤平団地を運営したいの思いをうかがわせる。筆者自身はここに住んで思うことがある。前述したコンビニや銀行の入っているセブンタウンというビルの開館時間は午前10時。コンビニは24時間営業であるが、ビル内の銀行のATMの利用は、午前10時まで待たなければならぬ。この時代では非現実的、かつサービス不足を感じる。同じ意見をもちかきつつ、両方での発信に耳にするが、コより、明るい団地コミュニティミニコミ紙での形成を期待したい。なお、写見とその解決策を danchi100k.com)で 団地の広報するという使 様子を垣間見ることが出来る。

1950年山形生まれ。東京都立大院卒。元千葉大学院工学研究科准教授(金属疲労専攻)。金属疲労の研究のほか、他分野のテーマの研究開発に努めるとともに日本各地の地域おこし活動に従事する。ローカル鉄道と地元の酒蔵のコラボで地域再生を図る地酒「鐵の道」の製造・販売を企画すでに10件を超える銘柄を送り出している。一般社団法人「洗楓座」代表。一般財団法人「エコミユニジームいすみ」代表。

団地のコミュニティ広報紙

常盤平団地の戸数は5359あり、巨大なコミュニティである。発行している。今回はこのコミュニティ新聞について紹介したい。発行部数は7500部で、編集&発行は自治会が担当、月末に放置されていたという事件も起き、月末に編集作業を終えて印刷所に送った。こうしたことから、住民のコミュニティづくり、見守り対策などに取り組んでいる。そのミニコミ紙は、常盤平駅と隣の五香駅の改札出口に吊るされており、誰でも入手することができる。もちろ



『ときわだいら』紙面(第1面)

今年(2024年)の新年号(724号)の1ページ目は、自治会長の大木賢さんの新春のあいさつほか。2、3 AT Mの利用は、午前10時まで待たなければならぬ。この時代では非現実的、かつサービス不足を感じる。同じ意見をもちかきつつ、両方での発信に耳にするが、コより、明るい団地コミュニティミニコミ紙での形成を期待したい。なお、写見とその解決策を danchi100k.com)で 団地の広報するという使 様子を垣間見ることが出来る。

総合

佐藤建吉 「洗楓座」代表

地元力発見!

39

でも入手することができる。もちろ